

市政記者各位

2022年12月9日
福岡市博物館

『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展の プレス内覧会を12月15日（木）に行います。

別紙のとおり、福岡市博物館特別展示室にて開催予定の「『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展」一般公開に先立ち、12月15日（木）にプレス内覧会を行います。資料をご確認のうえ、是非ご取材いただきますようよろしくお願いいたします。

記

① プレス内覧会

【日 時】12月15日（木） 14時30分から17時まで

【場 所】特別展示室（2F）

【内 容】12月16日（金）の一般公開の前に展示室内をご覧ください。

内覧会ご参加の方は12月12日（月）18時までに

[別添の取材申込用紙](#)に内容ご記載のうえ、

下記 FAX もしくはメールアドレス宛にお申込みください。

FAX 092-852-5607 メールアドレス yoshida@tnc.co.jp

② 展覧会の開催概要

【展覧会名】『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展

【会 期】12月16日（金）～2023年2月19日（日）

【会 場】特別展示室（2F）

【観覧料】一般2,000円、中高生1,500円、小学生1,000円

※未就学児無料（1人につき18歳以上の保護者1人の同伴が必要）

※チケットは[全日日時指定制（ローソンチケットにて販売）](#)です。

【休館日】月曜日（ただし、1月9日（月・祝）は開館、1月10日（火）は休館）

※12月28日（水）～2023年1月4日（水）は休館

【開館時間】9時30分～17時30分（入場は16時30分まで）

■プレス内覧会に関するお問い合わせ先

テレビ西日本事業局事業開発部担当…吉田、佐藤 TEL：092-852-5507 FAX：092-852-5607

■このリリースについて

福岡市博物館 学芸課…松村、高山 TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019

「『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展」がついに福岡で開催！
福岡会場での新グッズの販売も決定！

『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展 メディア向け内覧会のご案内

<日時> メディア向け内覧会：12月15日（木）14：30～17：00 リアル取材のみ

<会場> 福岡市博物館（福岡市早良区百道浜3丁目1-1）

「週刊少年ジャンプ」2016年11号（2016年2月15日発売）より連載開始し、同誌2020年24号（2020年5月18日発売）にて惜しまれながら完結を迎えた『鬼滅の刃』（吾峠呼世晴・著）。東京、大阪会場で大好評を博した同作初の原画展、「『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展」を、いよいよ12月16日（金）から2023年2月19日（日）まで福岡市博物館にて開催いたします。開幕に先駆け、前日の12月15日（木）にメディア向け内覧会を実施いたします。

本展覧会では作者・吾峠呼世晴氏の直筆原画を多数展示し、連載終了後も注目を集める本作の魅力に迫ります。原作漫画ならではの世界観を表現する会場内には、迫力の立体造形など見逃せない展示が目白押しです。

ご多忙中かと存じますが、この機会にご取材いただきますと幸いです。

記

■展覧会名：『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展

■内覧会日時：12月15日（木）14：30～17：00

■会場：福岡市博物館（福岡市早良区百道浜3丁目1-1）

■受付：福岡市博物館2階特別展示室前

※内覧会当日ご取材において一部のグッズ商品も撮影いただけます。

<本件に関するお問い合わせ先>

テレビ西日本事業局事業開発部 担当：吉田・佐藤

TEL：092-852-5507 FAX：092-852-5607 MAIL：yoshida@tnc.co.jp / ki-satou@tnc.co.jp

<取材時の注意事項>

- ※当日配布する取材留意事項に則り、ご取材いただきますようお願い申し上げます。
- ※当日は受付でお渡しするプレスパスを見える位置にご着用ください。
- ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から原則1媒体2名のご来場とさせていただきます。
- ※撮影した画像・映像および録音は、会期後および本展覧会を紹介する目的以外での転用・二次使用はできません。また、無断使用は固くお断りいたします。
- ※撮影した画像・映像を使用いただく際は、作品の著作権表示として必ずコピーライト表記（©吾峠呼世晴／集英社）を近傍に掲示してください。
- ※**原画1点のみの撮影や接写はNGです。1画面に2〜3点以上を額ごとに入れて、展示空間全体が写るように撮影ください。**
- ※**会場内には一部、撮影禁止のコーナーがございます。**
- ※作品保護のため原画にストロボや照明など強い光源をあてての撮影はご遠慮ください。
- ※展示室内での照明、フラッシュ、三脚の使用は原則できません。
- ※撮影した画像・映像のWEB・課金制サイトでの掲載も問題ありません。
- ※撮影した展示原画の写真をトリミングすることや、文字を載せることはお断りします。
- ※展示室内にてメモを取られる場合は、鉛筆をご使用ください。
- ※展覧会場で電源は供給いたしません。
- ※台車（キャリー、カート含）等のご利用はご遠慮ください。
- ※展示物にはお手を触れないようお願いいたします。
- ※福岡市博物館の外観等、展覧会会場以外の撮影には別途申請が必要となります。
ご希望の場合は1週間前までにご相談ください。ご取材時間は追ってお知らせいたします。
その際は、腕章をつけたうえでスタッフ立ち会いのもと撮影となります。

<その他>

- ※ご来館の際は、必ずマスクをご着用ください。正当な理由なく、マスクの着用を拒否された場合、入館をお断りする場合がございます。なお、会場でのマスクの配布はございません。
- ※発熱、咳、くしゃみ、喉の痛みなど風邪の症状がある方、体調のすぐれない方のご来館はご遠慮ください。
- ※会場入口にて検温を実施いたします。結果によっては、再度検温をお願いする場合があります。
37.5℃（度）以上の発熱がある場合は入館をお断りさせていただきます。
- ※会場入口をはじめ、会場内各所に消毒液を設置いたします。入退館の際は必ず、手指の消毒をお願いいたします。
- ※こまめな手洗い、うがい、咳エチケットへのご協力をお願いいたします。
- ※内覧の際は、ソーシャルディスタンスの観点から、できる限り他のお客様との距離を保ってご鑑賞ください。
- ※飛沫防止の観点から、大声での会話はお控えください。
- ※体調がすぐれない方は速やかにスタッフにお声がけください。
- ※新型コロナウイルスの感染拡散防止対策のため、本内覧会が中止となる場合もございます。
万が一、開催に関して変更が生じた場合は、メールにてご案内させていただきます。
- ※内覧会当日からさかのぼって14日以内に濃厚接触者となった場合、ご参加はご遠慮ください。

<報道についてのお願い>

※他媒体・番組への本案内状の転送はご遠慮ください。

※ご取材は、事前に本ご案内状をお送りした媒体様に限らせていただきます。

※会場内外で、レポーターや著名人による撮影を希望する場合は、1週間前までにご相談のうえ、必ず事前のご申請をお願いします。当日は、スタッフ立ち会いの下で、ご取材を調整させていただきます。

※権利の関係上、映像での取材・報道時に「作品の登場人物の台詞を真似る（アテレコ）」などは避けてください。

※原画展に関係のない関連作品（アニメ、舞台、ゲームなど）の素材使用については対応いたしかねます。



<掲載記事のご送付のお願い>

※掲載記事につきまして、掲載見本をお送りいただける媒体様は問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。また、展示室内のオフィシャル写真をご入用の方も、問い合わせ先までご連絡ください。



■展示内容

作者・吾峠呼世晴氏の直筆原稿の展示に加え、迫力の立体造形で『鬼滅の刃』の世界観を演出。

一部のエリアは一般の来場者も写真撮影可能です。※写真は全て大阪会場のものです。


ゾーン名	【序章】煌（きらめき）～不滅への旅立ち～	【壹ノ章】絆（きずな）～兄と妹、そして仲間たち～
展示イメージ	 <p>※写真は大阪会場のものです</p>	 <p>※写真は大阪会場のものです</p>
	キャラクターの魅力が詰まった23冊の単行本表紙に囲まれた空間。その中央では「『鬼滅の刃』 竈門炭治郎と禰豆子 第0巻フィギュア」が来場者をお出迎え。	鬼殺の道を歩みだした竈門兄妹と、共に成長した同期隊士たち。各キャラクターの背負っている運命や過去のエピソードなどを、名シーンとともに振り返ろう！

※「禰」の偏は「ネ」が正式表記です。

ゾーン名	【貳ノ章】鬼（おに）～人の果て、悲しみの果て～	【参ノ章】柱（はしら）～絶対なるその呼吸～
展示イメージ	 <p>※写真は大阪会場のものです</p>	 <p>※写真は大阪会場のものです</p>
	<p>古より、人間を喰らうことで人々から恐れられていた「鬼」。その王たる鬼舞辻無惨の禍々しい血と細胞に支配された五弦の鬼たちの姿と、人であった頃の記憶を覗く。</p>	<p>鬼殺隊を支える、心技体を極めし9人の剣士「柱」。その強さや、誇り高き姿を伝える原画と、鍛錬を重ね極めた剣技の数々が乱れ飛ぶ。</p>

※「辻」の偏は「一点しんによう」が正式表記です。

ゾーン名	【肆ノ章】繋（つなぐ）～全てを懸けて～	【伍ノ章】刻（とき）～千年の夜明け～
展示イメージ	 <p>※写真は大阪会場のものです</p>	 <p>※写真は大阪会場のものです</p>
	<p>繰り広げる数多の戦いで、鬼によって失われた尊い命たち。灯籠のほのかな光の中で、それぞれの隊士が背負った過去や宿命、そして未来に託した希望に想いを巡らせる。</p>	<p>無惨と鬼殺隊との最終決戦は熾烈を極める。息をつく暇もない戦いの中で、夜明けまでの焦れるような気持ちを、多数の原画と大判のグラフィックで伝える。</p>

ゾーン名	【終章】継（つぐ）～幾星霜を越えて～
展示イメージ	 <p>※写真は大阪会場のものです</p>
	<p>激闘の果ての風景。物語の結末を、満開の藤の花の下で見届ける。最終エリアでは本展初公開となる吾峠呼世晴氏のイラストも必見。</p>

■作品介绍：『鬼滅の刃』（きめつのやいば）

著者・吾峠呼世晴。「週刊少年ジャンプ」2016年11号（2月15日発売）より連載を開始し、2020年24号（5月18日発売）にて完結。コミックス全23巻の累計発行部数は1億5000万部以上（電子版含む）。

2019年4月よりTOKYO MXほか全20局にてテレビアニメ化。「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」は2020年10月16日に公開され、全世界での興行収入が約538億円を突破。2021年10月よりテレビアニメ「無限列車編」12月よりテレビアニメ「遊郭編」が放送された。新シリーズ「刀鍛冶の里編」のテレビアニメの制作も決定している。

■作品あらすじ

時は大正時代・日本。人喰い鬼の棲む世界。炭売りの少年・竈門炭治郎（かまど・たんじろう）の穏やかな日常は、人喰い鬼に家族を惨殺されたことで一変。妹の禰豆子（ねずこ※）は唯一生き残っていたが、鬼になってしまっていた。禰豆子を人間に戻し、家族を殺した鬼を討つため、2人は旅立つ。吾峠呼世晴の放つ和風血風剣戟譚。※「禰」の偏は「ネ」が正式表記です。

■著者プロフィール：吾峠呼世晴(ごとうげ・こよはる)

2013年、「週刊少年ジャンプ」の月例賞「第70回 JUMP トレジャー新人漫画賞」にて読切作『過狩り狩り』で佳作を受賞。以降『文殊史郎兄弟』、『肋骨さん』、『蠅庭のジグザグ』といった読切作品を発表した後、2016年2月より『鬼滅の刃』の連載を開始。2020年5月で完結。

■公式サイト

<https://kimetsuten.com>

■公式Twitter

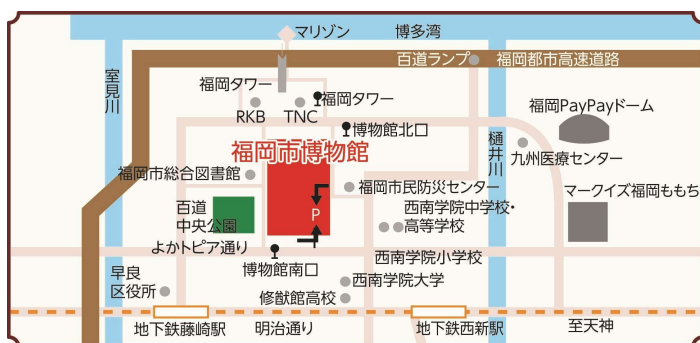
@kimetsuten

■「鬼滅展」福岡会場公式サイト

<https://www.tnc.co.jp/kimetsuten/>

※本展覧会に関する情報は予告なく変更になる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、変更・中止・延期などの可能性がございます。

■会場へのアクセス



福岡市博物館

（福岡市早良区百道浜3丁目1-1）

【アクセス】

市営地下鉄／西新駅下車徒歩15分

西鉄バス／博物館北口、福岡タワー南口、
博物館南口下車徒歩5分

※駐車場の利用は可能です。

『鬼滅の刃』吾峠呼世晴原画展（福岡会場）

申込用紙

FAX返送先 : 092-852-5607

または 電子メール : yoshida@tnc.co.jp

- 日時 : 12月15日(木) 14:30~17:00 (リアル取材のみ)
■会場 : 福岡市博物館
福岡市早良区百道浜3丁目1-1

メディア向け内覧会

ご出席

ご欠席

※1媒体につき最大2名までのご来場制限とし、受付時の検温で37.5度以上の方はご入場をお断りいたします

貴社名 : _____

貴媒体名 : _____

部署名 : _____

ご担当者名 : _____

ご撮影 : ENG スチール

TEL : _____

FAX : _____

電子メール : _____

※ご出欠につきましては、返信用紙に必要事項をご記入の上、**12月12日(月) 18:00まで**に、FAXまたは電子メールでご返送下さい。